



桜ヶ丘の子ども

山形市立村木沢小学校 校長 池田 友子



熱く燃えた 運動会!



『つなげ、絆と勝利のバトン!!』のスローガンのもと、5月23日(土)、さわやかな天候に恵まれ、待ちに待った運動会が行われました。

スローガンどおり、子どもたちは練習から各組のチームワークをかため、声をかけ合い、励まし合いながら、勝利をめざしてがんばってきました。中間発表では、競技も応援も接戦で、競技はやや白組が優勢、応援は赤組が優勢でした。その後も、両軍とも最後まで力を抜くことなく、団体競技、応援にがんばり、最後の最後までどきどきはらはらさせられる戦いとなりました。結果は、競技優勝は赤組、応援賞は白組となりました。

(競技 赤 410点 白 353点 応援 赤 286点 白 287点)

最後の最後まで歯を食いしばって走る姿、やる気と緊張感いっぱいバトンを渡す姿、休みなく友達に熱い声援をおくる姿…。自分の限界まで力を出し切ってがんばる子ども達の姿に、胸がいっぱいになりました。

暑い中、準備や後片付けにご支援いただいた PTA 役員の皆さま方、温かい声援を送ってくださったご来賓、保護者の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。





秋の実りを祈って、 全校生で田植え



5月26日(火)、朝早くから、田んぼの先生の志鎌 稔さんや、PTAの役員の皆さんが田植への準備を進めて下さり、木枠を転がして植え付ける印を付けて下さいました。

すばらしい天候のもと、地域のみなさんや保護者の方々にご協力をいただき、田植が始まりました。4月に、5年生が齊藤 稔さんから「こゆきもち」の種まきを教えていただき、その立派に育った苗を全校生で植えました。

毎年やってきた高学年の子どもたちは、さすがの腕前です。線が引かれた十字の印に合わせて、しっかりと植えていきます。1年生は、恐る恐る田んぼに足を入れて、どろとの格闘です。どろに足がとられて転びそうになりながらも、がんばって働きました。

県内でも、全校生が毎年米作りを行うことができる学校は数少ないと聞いています。どろの感触や、腰を曲げての作業の大変さ、みんなで働く楽しさなど、この田植の体験を通して、たくさんの方々のことを全身で感じ取ってほしいなと思いました。



曲がらないように転がすのは意外とむずかしいなあ！

足がぬけないよ。どろどろで楽しいね！



うわー、かえるがいるよー！



毎年やってきて慣れているから、印に合わせてまっすぐに、植えられました。

たくさんの方に協力していただき、無事に田植を終えることができました。これから収穫までまだまだ遠い道のりですが、稲の成長をしっかりと見守っていきたいと思います。ご協力いただきました皆様方、ありがとうございました。